

The Song of  
the Crocus Fairy  
クロッカスの妖精の歌

黄色いクロッカスは 生えたばかりで 喜びでいっぱい、  
紫や赤紫のクロッカスは ぎっしり並んで咲き、  
白のクロッカスは  
光のカップみたいね。  
数百も並んだクロッカスは 微笑んでいる。

それぞれのカップに 火をともし、  
炎になり温かくなって、太陽が照るのを歓迎すると、  
急に花々は パッと開いて、春は始まる。

踊りましょうよ、妖精さんたち、喜びいっぱい、  
歌いましょうよ、再びやって来た春の歌を。

英語名 :Crocus  
日本語名 :クロッカスの園芸品種  
学名 :Crocus spp.  
分類 :アヤメ科クロッカス属  
(属名はサフラン属ともいう)

クロッカスの解説

クロッカスは、日本で愛される花です。英国でも同じです。野原や庭いちめんに、春になると乱れ咲く、代表的な春の花です。クロッカス(Crocus)は、クロイドンCroydonという地名の語源になっている、という説があります。クロイドンを古代の英語で読むと「クロッカスの谷」と解釈できるそうです。もちろん、他の説もあります。クロイドンはシシリー・M・パーカーが生まれ育ち、生涯を過ごした場所です。もとは、ロンドン南で、現在はロンドン市に編

入されています。

クロイドンという名を、古代の英語で読むと、「クロッカスの谷」と解釈できるそうです。ただし、この説が正しいとは限りません。クロイドンの語源には、他の説もあります。

シシリーが、この説を知っていたのかどうかはわかりませんが、この詩と絵を春の最初に持ってきたのは、ひそかな郷土愛の表現ではないでしょうか。英国では春の訪れを、真っ先に告げる花です。

